

運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位：円)

期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高
		運営費交付金収益	資産見返	資本剰余金	小計	
974,585,955	24,525,856,000	20,562,038,542	1,173,692,455	1,143,060	21,736,874,057	3,763,567,898

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な用途の明細

① 運営費交付金収益への振替額及び主な用途

(単位：円)

区分	運営費交付金収益	運営費交付金の主な用途	
		費用	主な用途
業務達成基準による振替額			
量子科学技術に関する萌芽・創成的研究開発	666,517,562	666,517,562	人件費：106,826,280、業務費：542,996,282、その他：16,695,000
放射線の革新的医学利用等のための研究開発	4,563,085,642	4,563,085,642	人件費：2,720,695,366、業務費：1,830,179,979、その他：12,210,297
放射線影響・被ばく医療研究	1,536,281,073	1,536,281,073	人件費：800,905,514、業務費：735,375,559
量子ビームの応用に関する研究開発	4,838,674,581	4,838,674,581	人件費：3,166,709,608、業務費：1,666,660,941、その他：5,304,032
核融合に関する研究開発	6,274,844,145	6,274,844,145	人件費：3,432,984,027、業務費：2,840,781,011、その他：1,079,107
研究開発成果の普及活用、国際協力や産学官連携の推進及び公的研究機関として担うべき機能	877,009,343	921,638,806	人件費：617,185,895、業務費：304,452,911
期間進行基準による振替額	1,805,626,196	1,739,536,579	人件費：1,058,334,111、管理費：586,763,856、その他：94,438,612
費用進行基準による振替額	—	—	費用進行基準を採用した業務はいたしておりません。
合計	20,562,038,542	20,540,578,388	

② 資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な用途の明細

(単位：円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な用途	振替額	主な用途
量子科学技術に関する萌芽・創成的研究開発	215,862,491	工具器具備品 199,083,357 その他 16,779,134	-	
放射線の革新的医学利用等のための研究開発	206,288,310	建物 16,917,731 工具器具備品 173,151,336 その他 16,219,243	-	
放射線影響・被ばく医療研究	105,574,717	工具器具備品 102,161,954 その他 3,412,763	-	
量子ビームの応用に関する研究開発	135,571,418	建物 19,283,207 工具器具備品 108,906,539 その他 7,381,672	496,000	敷金保証金 496,000
核融合に関する研究開発	408,500,707	建物 142,482,046 工具器具備品 60,745,127 その他 205,273,534	-	
研究開発成果の普及活用、国際協力や産学官連携の推進及び公的研究機関として担うべき機能	31,456,936	工具器具備品 16,623,597 その他 14,833,339	-	
法人共通	70,437,876	工具器具備品 31,807,314 その他 38,630,562	647,060	敷金保証金 647,060
合計	1,173,692,455		1,143,060	

(3) 運営費交付金債務残高の明細

運営費交付金債務残高		
業務達成基準を採用した業務にかかる分	3,763,567,898	翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と主な使用見込みは以下のとおりです。 放射線の革新的医学利用等のための研究開発セグメントにおいて、契約締結済み年度内検査未了のため、翌期に87,126,711収益化予定。 また次年度に契約を実施することから、翌期に25,289,128収益化予定。 放射線影響・被ばく医療研究セグメントにおいて、契約締結済み年度内検査未了のため、翌期に1,094,752収益化予定。 また次年度に契約を実施することから、翌期に19,200,000収益化予定。 量子ビームの応用に関する研究開発セグメントにおいて、契約締結済み年度内検査未了のため、翌期に79,658,532収益化予定。 核融合研究開発セグメントにおいて、契約締結済み年度内検査未了のため、翌期に58,968,000収益化予定。 また次年度に契約を実施することから、翌期に180,000,000収益化予定。 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)光・量子を活用したSociety5.0実現化技術を実施するため、翌期に2,500,000,000収益化予定。 その他翌期に812,230,775収益化予定。 いずれも翌事業年度に使用する見込みである。
期間進行基準を採用した業務にかかる分	-	期間進行基準を採用した業務に運営費交付金債務残高はございません。
費用進行基準を採用した業務にかかる分	-	費用進行基準を採用した業務はいたしておりません。
計	3,763,567,898	